

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-511424(P2005-511424A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-549208(P2003-549208)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/44 (2006.01)

B 0 5 B 9/04 (2006.01)

B 6 5 D 83/38 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 B

B 0 5 B 9/04

B 6 5 D 83/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月21日(2005.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

取付けカップ内に保持され、戻しばねを設けてないことを特徴とし粘性及び半粘性の製品を分与する開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリにおいて、

バルブ・ハウジングと、

放出通路を持つ直立の弁棒であって、この弁棒の外壁内に延びこの弁棒の外壁を取り囲む弁棒みぞと、前記弁棒の外壁を貫いて延び、前記放出通路と、前記弁棒みぞとの両方に連通する少なくとも1つのバルブ・オリフィスとを持つ弁棒を備えたバルブ本体と、

中心穴を持ち、前記バルブ・ハウジングと前記取付けカップとの間に捕捉され、前記弁棒みぞを囲んでこの弁棒みぞ内に延び、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動しない時に、少なくとも1個のバルブ・オリフィスを密封するガスケットと、

を包含し、

前記バルブ・ハウジングに、

前記バルブ本体を囲む側壁と、

中心穴と、この中心穴から外方に間隔を置いた複数個の製品送出し穴とを持つ底壁と、を設け、

前記バルブ本体に、

前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴内に下方に延びる下部部分と、

前記弁棒の下方に位置し、前記製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置する外方に延びる中間部分と、

を設け、

前記バルブ・ハウジングの側壁と前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路が、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴から上向きに前記少なくとも1個のバルブ・オリフィスと、前記弁棒の放出通路とまで延び、従って前記ガスケットの中心穴を囲む前記ガスケットの部分が前記弁棒みぞにより下方に押され、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリ作動時に、前記ガスケットが前記弁棒みぞから完全にはずれるのを防ぐように、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングに係合するための少なくとも1つの行程制限表面を、前記バルブ本体に設け、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に前記ガスケットが、前記弁棒みぞに対し上向きに作用し、前記粘性又は半粘性の製品が前記バルブ本体に対し上向きに作用することにより、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリが、その作動位置から解放される時に、前記バルブ本体をバルブ閉鎖位置に上向きに動かすようにして成る、開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項2】

前記バルブ本体の少なくとも1つの行程制限表面が、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁に係合する前記バルブ本体の外面の複数のリブから成る請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項3】

前記バルブ本体の下部部分が、前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴を貫いて延びる請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項4】

前記バルブ本体の下部部分が、中空のベースと、この中空のベース内の内壁とを備え、前記中空のベースに対して粘性及び半粘性の製品が上向きに作用して前記バルブ本体を上向きに付勢するようにして成る請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項5】

前記バルブ・ハウジングの底壁は、その中心穴において前記バルブ本体の下部部分からの間隔を狭くして、前記バルブ本体の左右の運動を実質的に防止しながら、前記下部部分を前記中心穴を通過させるようにして成る請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項6】

前記バルブ・ハウジングの側壁と、前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路の少なくとも一部分を、左右に比較的狭い寸法にすることにより、前記上向きに延びる製品通路を通過して流れる粘性又は半粘性の製品の摩擦が作用して前記バルブ本体を上向き付勢するようにして成る請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項7】

さらに、製品移送浸漬管を設けてないことを特徴とする請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項8】

前記バルブ・ハウジングの底壁が前記バルブ・ハウジングの側壁から内方下向きに傾斜するようにした請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項9】

外方に延びる前記バルブ本体の中間部分に、前記バルブ本体の下部部分に向かい内方下向きに傾斜する表面を設け、この表面が製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置することにより、分与時に製品が前記製品送出し穴を通過し、前記表面に衝突し前記バルブ本体を上向きに付勢するようにした請求項8のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項10】

推進剤用の第1の区画と、製品用の第2の区画とを持つ多成分エーロゾル容器を備え、前記第2の区画が、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリから分与されるべき粘性又は半粘性の製品用の前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴に開口するようにした請求項1のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項11】

前記第1及び第2の区画が、前記多成分エーロゾル容器内の可動ピストンによって隔壁されている請求項10のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項12】

前記第2の区画が、たわみ性の袋であるる請求項10のエーロゾル・バルブ・アセンブリ。

【請求項13】

エーロゾル容器と、このエーロゾル容器を閉じる取付けカップと、この取付けカップ内に保持され、戻しばねを設けてないことを特徴とする開放しやすいエーロゾル・バルブ・アセンブリと、前記エーロゾル容器内に入れた粘性又は半粘性の製品とを包含するエーロゾル・パッケージにおいて、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリに、

バルブ・ハウジングと、

放出通路を持つ直立の弁棒であって、この弁棒の外壁内に延びこの弁棒の外壁を取り囲む弁棒みぞと、前記弁棒の外壁を貫いて延び、前記放出通路と、前記弁棒みぞとの両方に連通する少なくとも1つのバルブ・オリフィスとを持つ弁棒を備えたバルブ本体と、

中心穴を持ち、前記バルブ・ハウジングと前記取付けカップとの間に捕捉され、前記弁棒みぞを囲んでこの弁棒みぞ内に延び、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動しない時に、少なくとも1個のバルブ・オリフィスを密封するガスケットと、
を包含し、

前記バルブ・ハウジングに、

前記バルブ本体を囲む側壁と、

中心穴と、この中心穴から外方に間隔を置いた複数個の製品送出し穴とを持つ底壁と、
を設け、

前記バルブ本体に、

前記バルブ・ハウジングの底壁の中心穴内に下方に延びる下部部分と、

前記弁棒の下方に位置し、前記製品送出し穴を持つ前記バルブ・ハウジングの底壁の上方に位置する外方に延びる中間部分と、
を設け、

前記バルブ・ハウジングの側壁と前記バルブ本体との間の上向きに延びる製品通路が、
前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に、前記バルブ・ハウジングの底壁の製品
送出し穴から上向きに前記少なくとも1個のバルブ・オリフィスと、前記弁棒の放出通路
とまで延び、従って前記ガスケットの中心穴を囲む前記ガスケットの部分が前記弁棒みぞ
により下方に押され、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリ作動時に、前記ガスケットが前記弁棒みぞから完全にはずれるのを防ぐように、前記バルブ本体の所定の距離の下降運動時に、前記バルブ・ハウジングに係合するための少なくとも1つの行程制限表面を、前記バルブ本体に設け、

前記エーロゾル・バルブ・アセンブリの作動時に前記ガスケットが、前記弁棒みぞに対し上向きに作用し、前記粘性又は半粘性の製品が前記バルブ本体に対し上向きに作用することにより、前記エーロゾル・バルブ・アセンブリが、その作動位置から解放される時に、前記バルブ本体をバルブ閉鎖位置に上向きに動かすようにして成る、
エーロゾル・パッケージ。

【請求項14】

前記エーロゾル容器に、推進剤用の第1の区画と、製品用の第2の区画とを設け、この第2の区画を前記バルブ・ハウジングの底壁の製品送出し穴に開口するようにした請求項13のエーロゾル・パッケージ。

【請求項15】

さらに、製品移送浸漬管を設けてないことを特徴とする請求項13のエーロゾル・パッケージ。